

5月7日（火）お昼の放送 校長と栄養教諭の話

大竹小学校のみなさん、こんにちは！さあ、アレを言おうかな。元気ですか！？元気があれば、「げんきですか！？どんぶり」も完食できる。

先ほど、給食委員の人が、放送してくれたとおりの「げんきですか！？どんぶり」は校長先生が名前を付けました。

もう5～6年ぐらい前だと思います。給食センターのセンター長さんから、「新しい給食のメニューを考えたので、食べていただいて名前を付けてください。」とお願いされました。

まず、めちゃくちゃおいしかったです。そして、校長先生は、いただきながら、給食センターの人にいろいろと質問をしていると、「ぶたにく、にんにく、しょうが、たまねぎ」など、元気になりそうな食材がいっぱい入っていることがわかりました。そこで、このメニューの名前について、『元気ですか！？どんぶり』に、はい、決定～！！』と決めました。学級のみんなで完食してください。

さて、給食に関わって、栄養教諭の渡邊先生から、大変うれしいことをお聞きしました。これについては、渡邊先生からお手紙をおあずかりしていますので読みます。聴いてください。

（「手紙 ～拝啓 十五の君へ～」のメロディーを流す）

4月から新年度の給食が始まって、うれしいことが二つあります。

一つめは、大竹小学校のみなさんが給食をよく食べてくれることです。

特に1年生の皆さん、しっかり給食を食べていますね。給食を配り終わって、ごはんやおかずが余っていても、おかわりをして、食缶の中が空っぽになっています。幼稚園や保育所と比べて、給食は量が多いのかな？と

心配していましたが、しっかり食べてくれるのでうれしいです。

二つめは、給食の感想や、できるようになったことを教えてくれる人がいることです。

例えば、「今日の〇〇がおいしかったよ」という感想や「今日は残さず食べられました」とか「苦手だった魚が食べられるようになりました」などと、給食でできるようになったことを教えてくれます。人それぞれ、食べられる量が少ない人や、苦手な食べ物がある人もいます。それでも、少しずつ挑戦していくと、できることが増えていきます。これからも、みなさんのがんばりを応援しています。

渡邊先生より

どうでしたか。校長先生は、食べ物を簡単に捨てるということが大嫌いです。

栄養のバランスが計算しつくされた給食を食べるということは、まず、「自分の体の元気のため」、そして、給食を作ってください調理員の皆さんの思いや献立を考えてくださる栄養教諭の先生方の思い、他にも野菜などの食材を作ってくださいの方々の思い、つまり「給食づくりに関わってくださっている全ての人を大切にするため」でもあると校長先生は思っています。

苦手な食べ物もあると思いますが、感謝の気持ちをもって、少しでも、がんばって食べられるようにしましょう。そして、できるだけ、学級で残菜のないように、みんなで協力していただきましょう。